



# 2025年度 国際交流基金賞 受賞記念講演会

The Japan Foundation Awards 2025 Commemorative Lectures

参加費  
無料

国際交流基金(JF)は、学術、芸術、その他の文化活動を通じて、国際相互理解の増進や国際友好親善の促進に特に顕著な貢献があり、引き続き活躍が期待される個人または団体に対し「国際交流基金賞」を授賞しています。1973年に創設され、52回目の授賞となる本年度は、内外各界の有識者および一般公募により推薦のあった106件の個人および団体の中から、有識者による選考委員会の審査を経て、計2件の受賞者を決定しました。この受賞を記念して、受賞者による講演会を開催します。今後、国際交流活動を志す方々の参考になることを願い、受賞者のこれまでの活動についてご紹介いただきます。皆様のご参加をお待ちしております。

## 「韓国の日本語教育『釜山』からの発信」

登壇者： **鄭 起永** (JUNG Giyoung / ジョン・ギヨン)  
釜山外国語大学校 教授

10/23 (木) 開場 18:00 / 講演時間 18:30 ~ 20:00

言語：日本語

会場：国際交流基金 ホールさくら(四谷) 定員 40名(先着順)  
オンライン同時配信



## 「民藝フィルムアーカイブをつくる —フィルムのデジタル保存と語りの記録」

登壇者： **マーティ・グロス** (Marty Gross)  
マーティ・グロス・フィルム・プロダクション プロデューサー／監督

10/24 (金) 開場 17:30 / 講演時間 18:00 ~ 20:00

言語：日本語

会場：国立能楽堂 2階 大講義室(千駄ヶ谷) 定員 60名(先着順)



photo by Grant Delin

### ■ 参加申し込み方法

事前に申込フォームよりお申し込みください。  
お申し込みは先着順とさせていただきます。  
定員に達し次第、受付を終了します。

**お申込締切：2025年10月19日(日) 23:59**

※講演会の様子を写真・動画で撮影し、国際交流基金ウェブサイトや公式SNS等にて公開する場合がございます。会場内のお客さまが映り込む可能性がありますので、予めご了承ください。また、報道機関等による取材の可能性があり、テレビカメラによる取材映像の放映や、個別取材がある可能性があります。こちらも予めご了承ください。

#### 鄭 起永 氏 講演会

<https://dx-mice.jp/EZEntry/25jpf1/entry>

オンライン同時配信での視聴をご希望の方は、申込不要です。  
国際交流基金公式 YouTube チャンネルより、どなたでもご覧いただけます。  
<https://www.youtube.com/@thejapanfoundation>



#### マーティ・グロス 氏 講演会

<https://dx-mice.jp/EZEntry/25jpf2/entry>



### 主催：独立行政法人国際交流基金 (JF)

国際交流基金(The Japan Foundation, JF)は、「日本の友人をふやし、世界との絆をぐくむ。」をミッションに、「文化芸術交流」「日本語教育」「日本研究・国際対話」を推進する独立行政法人です。25か国・26の海外事務所と、国内の附属機関・支部を足がかりに、世界各国の在外公館、日本語教育機関や文化交流機関等と緊密に連携をとりながら、グローバルに活動を展開しています。

本講演会の詳細は、国際交流基金のウェブサイトをご覧ください。<https://www.jpf.go.jp/j/about/award/archive/2025/lecture.html>



JAPAN FOUNDATION



# 2025年度 国際交流基金賞 受賞記念講演会

## The Japan Foundation Awards 2025 Commemorative Lectures

釜山外国語大学 教授

鄭 起永 (JUNG Giyoung / ジョン・ギヨン)

### ■ 講演会概要

釜山は古くから日本への玄関口となってきた都市です。戦後、韓国では政治・経済・文化・教育など社会のすべてがソウル中心になりました。日本との交流や日本語教育も同じです。1994年、鄭 起永氏は母校の釜山外国語大学の日本語学科に着任以来、釜山や外国語大学ならではの日本語教育を目指し、釜山から新たな発信をしたいと考え、釜山に日本語教育の最大拠点を作り、日韓の架橋となる若い人材をたくさん育て日韓の社会に送り出してこれました。その結果が、今や韓国最大の日本語教育機関、釜山外国語大学「日本語融合学部」につながっています。本講演ではその試みや挑戦を紹介します。

### ■ 授賞理由

鄭起永(ジョン・ギヨン)氏は、韓国の日本語教育を30年以上にわたり牽引してきた第一人者である。釜山外国語大学では日本語融合学部を創設し、学部内に三つの専門専攻を設置、1000名を超える学生が学ぶ韓国最大の日本語教育拠点を築いた。また、ICTの活用やCan-do評価など、日本語教育において先駆的な取り組みを先導してきた。さらに、対馬での漂着ごみ清掃活動、日本企業への就職支援、釜山日本村の設立による継承語教育の実践、日韓文化交流団体の運営など、言語教育を超えて国際相互理解と友好親善に寄与している。その多面的な貢献はまさに国際交流基金賞にふさわしく、今後のさらなる活躍が期待される。



韓日友好のタペ (社団法人釜山韓日文化交流協会提供)



日本語融合学部の学生らによる日本企業訪問

### ■ 会場アクセス

〒160-0004

東京都新宿区四谷1-6-4 四谷クルーセ1階  
(「コモレ四谷」内)

JR 中央線・総武線「四ツ谷駅」から徒歩3分

東京メトロ丸ノ内線・南北線「四ツ谷駅」から徒歩3分



マーティ・グロス・フィルム・プロダクション プロデューサー／監督

マーティ・グロス (Marty Gross)

### ■ 講演会概要

ともすれば人々の記憶から消えてしまうかもしれない、名もない民藝品の数々。マーティ・グロス氏は日本各地に職人を訪ね歩き、対話を重ねながら、一つ一つ語りの記録として残す作業を長年行ってきました。こうした活動は、職人の技や背景にある暮らしを未来へ伝える営みでもあります。本講演においては、これまでに築き上げられてきた多様なアーカイブ作品を手掛かりとして、アーカイブに対するグロス氏の思いを紐解き、当時の記憶を鮮やかに蘇らせることとなるでしょう。

### ■ 授賞理由

日本の伝統芸能や民藝運動を世界に紹介してきたカナダの映画監督、アーキビスト、コンサルティング・プロデューサー。名匠たちによる上演を記録した映像作品『文楽 冥途の飛脚』(1980)を監督して文楽の海外への紹介に大きな役割を果たし、北米における日本の古典的名作映画の販売や公開にコンサルタントとして尽力し、多数の関係者インタビューも担当した。現在進行中の大きな業績としては、1930年代から70年代に撮影された「民藝運動」の記録映像を発掘・修復して公開する「民藝運動フィルムアーカイブ」を手がけており、職人が作り出す日常生活用品に美を見出した民藝運動の姿を現在に蘇らせることに大きな貢献を果たしている。



Restoring & Enhancing Films of the  
Mingei Film Archive  
Mingei Film Archive



Shukumine Kyoko in "The Textiles of  
Okinawa"  
Mingei Film Archive/Japan  
Folkcrafts Museum



"Mashiko Village Pottery, 1937"  
Mingei Film Archive



"Japanese Paper, 1938"  
Mingei Film Archive

### ■ 会場アクセス

〒151-0051 東京都渋谷区千駄ヶ谷4-18-1

JR中央・総武線「千駄ヶ谷駅」より徒歩5分

都営大江戸線「国立競技場駅」より徒歩5分

東京メトロ副都心線「北参道駅」より徒歩7分



お問い合わせ先

国際交流基金賞 受賞記念イベント事務局 (株式会社サンケイ会館内)

TEL : 03-3516-7813 FAX : 03-3516-7812 Email : jpf@sankeibldg.co.jp

SNSで国際交流基金の  
最新情報を発信中

国際交流基金

公式SNSはこちら→

